（様式１　令和６年改訂版）

※事務局記入欄

受付番号：

受付年月日：

動 物 実 験 計 画 書

 　　　年　　　月　　　日

東京科学大学長　殿

|  |
| --- |
| 新　　　　　　　　　規 |

|  |
| --- |
| 　　　　 |
| 研 究 課 題 名 |  |
|  |
| 研 究 目 的　 |  |
| 動物実験責任者 | フリガナ |  |  | 所属部局名 | 職 名 | 教育訓練受講修了証番号 |
|  | 氏　名e-mail |  |  | 連絡先　（内線）　:  |  | 受講No.　　　　　　　　　　 |
|  |  | @ |  |  |  |  |
| 動物実験実施者（括弧内にフリガナ） |  | （ |  | ） |  |  | 受講No.　　　　　　　　　　 |
|  | @ | 連絡先　（内線）　: |  |  |
|  |  | （ |  | ） |  |  | 受講No.　　　　　　　　　　 |
|  | @ | 連絡先　（内線）　: |  |  |
|  |  | （ |  | ） |  |  | 受講No.　　　　　　　　　　 |
|  | @ | 連絡先　（内線）　: |  |  |
|  |  | （ |  | ） |  |  | 受講No.　　　　　　　　　　 |
|  | @ | 連絡先　（内線）　: |  |  |
|  |
| 実験実施期間　 | 承認後 ～ 　　　　　　　年　　　　　月　　末日 |
| 飼養保管施設及び実験室 | 飼養保管施設 |  | 実験室 |  |
| 使　用　動　物 | 動 物 種 | 系　統 | 性　別 | 匹　数 | 微生物学的品質 | 入手先（導入機関名） | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |
| 研究計画と方法　 | 研究概要 （研究計画と方法について，その概要を記入する。） |
|  | 実験方法 （動物に加える処置，使用匹数の根拠を具体的に記入し，「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。） |
|  |
| 特殊実験区分(該当項目をすべて[x] ) | [ ]  | 1. 遺伝子組換え動物使用実験　　区分: [ ]  P1A [ ]  P2A [ ]  P3A |
|  |[ ]  2. 微生物等を用いた実験　　安全度分類:　[ ]  BSL1 [ ]  BSL2 [ ]  BSL3 |
|  |[ ]  3. 放射性同位元素・放射線使用実験 |
|  |[ ]  4. 化学発癌・重金属実験 |
| 動物実験の種類 |[ ]  1. 試験・研究 | 動物実験を必要とする理由 |[ ]  1. 検討したが，動物実験に替わる手段がなかった。 |
|  |[ ]  2. 教育・訓練 |  |[ ]  2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。 |
|  |[ ]  3. その他 |  |[ ]  3. その他 |
|  |
| 想定される苦痛のカテゴリー※SCAWの苦痛分類に基づく |[ ]  B. 脊椎動物を用い，動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 |
|  |[ ]  C. 脊椎動物を用い，動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 |
|  |[ ]  D. 脊椎動物を用い，回避できない重度のストレスまたは痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験。 |
|  |[ ]  E. 無麻酔下の脊椎動物に，耐えうる限界に近い　またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。 |
| 動物の苦痛軽減，排除の方法 |[ ]  1. 短時間の保定・拘束および注射など，軽微な苦痛の範囲であり，特に処置を講ずる必要はない。 |
|  |[ ]  2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず，処置できない。 |
|  |[ ]  3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　 ） |
|  |[ ]  4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合，適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 |
|  |[ ]  5. その他 （具体的に記入: ） |
| 安楽死の方法(該当項目をすべて[ ] ) |[ ]  1. 麻酔薬等の使用 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
|  |[ ]  2. 炭酸ガス |
|  |[ ]  3. 中枢破壊 (具体的に記入:　　　　　　　　　　　　　　　　　　法) |
|  |[ ]  4. 安楽死させない (その理由を記入: ) |
| 動物死体の処理方法 |[ ]  1. 外部業者に依託 |
|  |[ ]  2. その他 （具体的に記入: ） |

|  |
| --- |
| ＜参 考 事 項＞※以下、該当する項目がありましたら、ご記入ください。　該当がない場合は“[x] 該当なし”としてください。 |
| 麻薬使用について |[ ]  1.　動物実験責任者が麻薬研究者免許未取得、又は取得予定。 |
|  |[ ]  2.　動物実験責任者が麻薬研究者免許取得済み。（麻薬研究者免許番号：　　　　　　　　　　　　　　） |
| 向精神薬使用について |[ ]  1.　向精神薬試験研究施設設置者登録済み。使用・保管する建物・部屋についても申請済み。（設置者登録証番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　使用・保管する建物・部屋の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　） |
|  |[ ]  2.　向精神薬試験研究施設設置者登録の新規又は変更申請予定。（設置者登録証番号：　　　　　　　　　　　　　　　　使用・保管する建物・部屋の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）※新規登録申請の場合は登録証番号記入欄に「新規登録予定」と記載すること。 |
| 遺伝子組換え実験について |[ ]  1.　遺伝子組換え生物等実験等安全管理委員会で許可済み。（許可番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |[ ]  2.　遺伝子組換え生物等実験等安全管理委員会で申請手続き中、又は申請予定。（受付番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 微生物等を用いた実験について（本学の指針でBSL2以上の微生物等を取扱う場合） |[ ]  1.　微生物等安全管理委員会で許可済み。（許可番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |[ ]  2.　微生物等安全管理委員会で申請手続き中、又は申請予定。（受付番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 人を対象とする研究について |[ ]  1.　人を対象とする研究倫理審査委員会で許可済み。（許可番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |[ ]  2.　人を対象とする研究倫理審査委員会で申請手続き中、又は申請予定。（受付番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |[ ]  該当なし |
| その他必要事項 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 委員会記入欄 | 本審査終了日:　　　　　　年　　　月　　　日　　 |
| 修正意見等 |
| 審査結果　[ ] 　本実験計画は，国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則等に適合する。　　（条件等　　 [ ] 　遺伝子組換え生物等実験等安全管理委員会の承認後，実験を開始すること。[ ] 　微生物等安全管理委員会の承認後、実験を開始すること。[ ]  人を対象とする研究倫理審査委員会の承認後、実験を開始すること。[ ] 　麻薬研究者免許取得後，実験を開始すること。[ ] 　向精神薬試験研究施設設置者登録及び使用・保管する建物・部屋の申請後，実験を開始すること。　　　　　　　[ ] 　本実験計画は，国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則等に適合しない。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学長承認欄 | 承認日:　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 本実験計画を承認します。　　　　　　　　　　　承認番号： 第　　　　　　　　　　　　　　　　号東　京　科　学　大　学　長（公印省略） |